

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 30 年 5 月 10 日

審査機関名 ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ガラス加工工場におけるヒートポンプ導入による熱源設備の更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1400
排出削減事業者名	株式会社ニッソー
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
事業実施場所	株式会社ニッソー 本社工場
事業の概要	ガラス平面研磨・加工及び液晶パネルなどの精密平面研磨工程における加温設備の熱源機器を電気ヒーター23 台から自然冷媒型高効率水熱源エコキュート1 台に更新することで、エネルギー使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012 年度： 46 tCO2/年 2013 年度： 207 tCO2/年 2014 年度： 201 tCO2/年 2015 年度： 193 tCO2/年 2016~2019 年度： 187 tCO2/年 2020 年度： 144 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,539 tCO2)
認証期間	開始日 2013 年 1 月 7 日 終了予定日 2021 年 1 月 6 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2021 年 1 月 6 日となっている。

排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新
---------	-------------------------------

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2018年1月6日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	583 tCO ₂ （2015年4月1日～2018年1月6日）
-------	--------------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 エコキュート電力測定記録データによる使用電力量のデータ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 エコキュート電力測定記録データによる使用電力量のデータ、事業実施前後ボイラーのカタログによる効率値及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 エコキュート電力測定記録データによる使用電力量のデータ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー

	<p>使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.0により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をエコキュート電力測定記録データによる使用電力量のデータと集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は2015年4月1日から2018年1月6日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2021年01月06日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、原油換算288.5KLであることを確認した。

以 上